

ROTARY CLUB OF

KANAZAWA-NORTH



金沢北ロータリークラブ

例会日：木曜日 12:30～13:30

例会場：卯辰山・ホワイトハウス

事務局：金沢市尾山町9-13・金沢商工会議所

TEL <0762> 22-2525

会長：大場勝雄 幹事：桜井健太郎

情報委員長：米沢修一

1982・5月27日 第216号

「法つれづれ」



金沢地方検察庁

検事正 田中 義雄氏

先日、テレビで、新しく出来上った私共の庁舎や、仕事の内容が紹介されましたが、一般には、私共の仕事を知らない方が多いと考
えます。

検察庁の事を知らないまま、一生を過す方は幸福な方と思いますが、善良な市民でも、不幸にして、不当なる訴により疑をかけられ、又は被害者として検察庁にかかわりを持つ場合が、ま、あると思
います。

一般に、事件があれば、地元の警察が検挙して、検察庁に送致し、検察庁で裁判にかけるか否
かを決定し、検事によって裁判にかけられた人だけが裁判されることとなります。

近年の新聞は、警察が犯人を検挙して検察庁に送った事や、裁判の様態等については、相当詳
しく報道していますが、中間にいる検事が、検察庁でやっている事は余り書きません。検事は、
警察より送られて来た事件の一つ一つについて、果して真犯人に間違いはないか、間違いはないとす
れば、犯人、被害者及び一般社会等にとって、裁判にかける必要があるか否か、どのような処分
をすることが最良であるかを決定している訳であります。そしてこれを決定する際には、真実の
発見、即ち、真犯人が誰であるかの認定に、全精力をかたむけ、かりそめにも無実の者が犯人扱
いされない事は勿論、一方真犯人を逃がし、被害者を泣かせるような事のない様つとめておりま
す。

検察庁は、県庁や市役所と違い気軽に来て下さいといえる所ではありませんが、新しい庁舎の
外観は、金沢に似合った茶色をとり入れ、外来者の為、内部の構造にも色々と気を使ってありま
す。

現在の法制度では、被害者の協力がなければ、処罰が困難な場合が多く、悪い者程世間にのさ
ばる事になりますので、不幸にして被害者となられた方は、その保護には十分気を使っておりま
すので、気軽に検察庁へ足を運んで戴きたいのであります。

いうまでもない事ではありますが、「法」といってもむずかしい事ではなく、健全な常識に則って
行動する事が、法に則っていることだと考えて居ります。

(金沢北RC例会講話より要訳)

私 の 名 刺

坂 下 直 人



この度大場会長、長谷川さんの御推薦により名誉ある金沢北ロータリークラブに入会させていただきました。岐阜県の山奥で生まれて、各地を転々として居り、当地金沢の為にも何一つ尽す事も出来ない私をあたたく迎えて下されましたクラブの皆様に、心から御礼申し上げます。

昭和12年に生れ、6才まですごた生地は今、ダムの底で眠って居ります。父の仕事でイタイ、イタイ病で有名になってしまった岐阜県神岡町に移り住んで18才まで何と無く生きて来ました。

15才で漆の道に入って以後15年間他人のメシ(弟子)を喰って来ました。時には不良らしき仲間とあばれまわった事も有りましたが、大

きく道を間違ふ事もなく今日有るのは、強い力で私をたたいて下さった多くの先輩に巡り合えた事と思います。何と無く生きて来た私を強い力で高い意識の世界にひっぱりつづけて下さる親に多く巡り合えた事を喜びとして今後とも、より多くの親に巡り合いたいと念じつづけて居ります。

そのように念じつづけて居る時に大場会長、長谷川さんより入会のおすすめが有りましたので、ぜひにと御願ひ致しました。当クラブでより多くのおやじさんに巡り合える事をたのしみにして居ります。30年間漆の道のみ走りつづけて来た為に世間にうとく、友人達によく酒の肴にされるくらいです。有酒席でパチンコの話が出た時、知ったかぶりでパチンコもおもしろいが玉を入れるのがめんどうだなどと言ってしまった所、皆にわらわれ、10数年ぶりでパチンコ屋に入って見ておどろきました。日本の技術革新のすごさを見せつけられて来ました。またたく間に数千円の玉が無くなったのにもおどろきましたが、わずかな手のうごきで玉を自分の思う所にもって行ける事に気がついてからは玉もよく出る様になり、御菓子など持って帰りましたが、あのうるさい音楽には閉口しました。一つ賢くなった様な気持で帰りました。万事、かくのごとし生き様で御座いますが、スマートな生き方をしらない人生も又たのしい物です。クラブの皆様の趣味欄を拝見しますとそれぞれ楽しそうな趣味をお持ちですが、無趣味の私の事、これとて無く15才の時巡り合った、自称乞食坊主に山で生きる事を学び、以後30才までよく山へ登りましたが、エベレストへ登る力もなく一休みして居り、結婚を機に移り住んだ輪島が海の中だった為に海の子と遊ぶ事をおぼえ、釣らしい事も10年くらいしましたが、よく夏、釣糸をたれて水中メガネでのぞき見をするのがすきで楽しみましたが、大海に竿のたとえ通り釣れなくてあたりまえでしょう。今はたまに魚にえさをあたえに行っています。皆様の中で私に合う趣味が有りましたら、御指導下さる様御願ひ致します。

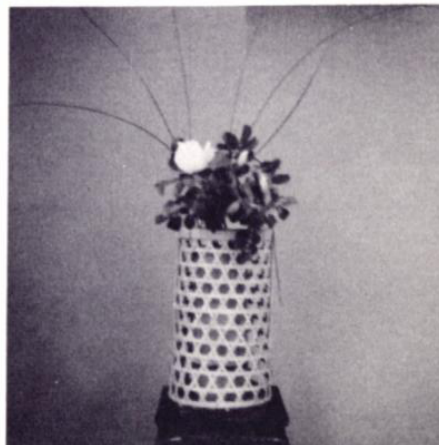
つまらない事ばかり書いた様ですがすべてまことのみ書きましたので、おゆるしのほど、私にとって楽しいクラブで有る事を念じてやみません。

今週の花

吉山 宥海

白浜 なす

(5月13日)



ロータリー随想

月心寺の茶会のこと

清水 忠

去年の冬、金沢は大雪の中に埋まっていた。1月23日には、月心寺の茶会がある。周知のようにこの茶会は、裏千家の始祖千宗室の遺徳を偲んで、毎月その命日に催されている。

半ば期待し、半ば諦めながら、この日全国からかけつけた茶人たちは、寺への細い坂道が雪のきれいにあけられているのに出会って、自分たちの目を疑う思いがした。

聞けば、近所の人たちが、徹夜で除雪したものだという。霏々として降りやまぬ粉雪を衝いて、或る者はスコップを手にし、或る者は鶴はしを振るった。

老いも若きも問わない地元の人たちの、この無償の奉仕は茶人たちの心を動かさずにはおこななかった。

このさわやかな出来事は、私たちにさまざまの思いを起させる。

経済にたずさわる者の目から観れば、茶会は非生産的な行為であり、云ってみれば遊びである。ましてそのための除雪は、およそ生産とは結びつかぬ所詮空しい遊びの極みと云うべきかもしれない。

文化を大切にする者から観れば、文化伝統は一握りの逸材だけが創るものではない。この人たちの支えがあればこそ香り高い金沢の文化を世に問うことができるはずである、それはとかく実践を伴わない今日の風潮の中でいふし銀のように光るものだということになるだろう。

しかし、私が特に感じたのは金沢人の気質の中にある不思議な情念とでもいうべきものであった。

除雪というそれ自体が空しい、まして遊びのためのものであってみれば報われることの少い営みに対して、黙々として手を動かし、汗を流すその頑くなまでの情念は、一体どこから来るものだろうか。

私は不明にしてその背景を理解することはできない。

しかし、確かに云えることは、打算を超えたその愚直な情念こそ、今日の人間社会が求める尊い価値であるということである。

今日、金沢が一廻り遅れのランナーと云われ、前近代的な遺産都市と評されながら、不思議な魅力で現代に訴える何かを持つ背景として、金沢の人たちにおりのようにしみついた、この愚直な情念を考えなければならぬのではないだろうか。

今日も、月心寺の月例茶会へ足早やに急ぐ華やかな人かげを見送りながら、私の思いはかけめぐる。

理事會報告

5月13日(木) 石亭にて
出席者 14名

- 5RC 合同役員会報告
- 新旧合同役員会開催の件。
- 各委員会報告
- 職業奉仕 職業奉仕に関するアンケート。
- 例会・親睦
 - 6月24日(木)の新例会場(松魚亭)に於ける夜間例会の件。大場、長谷川、魚住、坂下会員の作品の展示を予定。

○ 友好

- 「少年サッカー京都遠征試合」精算報告。
- 次年度(8月21日～23日)「京都スポーツ少年団金沢遠征試合についての説明。
当クラブとしては35～40万円の予算を必要とする。

■ その他

- 6月3日(木)新例会場での初例会において、ロータリーマークの除幕式を行なう。
- 松魚亭に対するお祝いの件
韓国からいただいた花器を寄贈する。
- 委員会構成の見直し。

